

# 兄弟抄

御書全集 1088頁 16行目〜18行目  
編年体御書 689頁 16行目〜18行目

設たとひ・いかなる・わづ煩らはしき事ことありとも夢ゆめ

になしてただ只法華經きようの事ことのみさはくらせ給たまうべ

し、中なかにも日蓮にちれんが法門ほうもんは古いにしへこそ信しんじがたか

りしが今いまは前まへ前まへいひをきし事こと既すでにあひぬれば

よしなく由謗ぼうぜし人ひと人も悔くゆる心こころあるべし、設たとひこ

れより後のちに信しんずる男女なんによありとも各おのおの各おのにはかへ

思おもふべからず

## 語句

### 前前さきさきいひをきし事こと

日蓮大聖人ほんぎくなんが文応元年ぶんおう（1260年）に北条時頼ほうじょうときよりに提出ていしゆつした「立正安国論りつしょうあんこくろん」で自界じかい叛逆はんぎくなん（内乱ないらん）と他国たこく侵逼しんびつ難なん（他国たこくからの侵略しんりやく）が起おこると予言よげんされたこと。この予言よげん通り、文永9年ぶんえい（1272年）に北条一門ほうじょういちもんの内乱ないらん（二月騷動にがつそうどう）が起おこり、さら

## 通解

たとえ、どのような煩わづらわしいことがあつても、夢ゆめと思おもつて、ただ法華經きようのこ

とだけに取り組とんでいきなさい。

なかでも、日蓮にちれんの法門ほうもんは、以前いぜんには信しん

じることが難むずかしかったが、今いまは前まへ々まへから

言いつておいたことが的てきちゆう中ちゆうしたので、理り由ゆう

もなく誹謗ひぼうした人々ひとびとも、悔くいる心こころが起お

ていることだろう。たとえ、これから後のち

に信しん仰ごうする男女だんじよがあつたとしても、あな

た方がたに替かえて思おもうことはできない。